
製品**安全**対策優良企業表彰2019

中小企業 小売販売事業者部門 「優良賞」
受賞者プレゼンテーション

ふとんのしなか
代表 西中孝樹



Shop Information



創業：1948年（72年目）

代表：3代目 西中孝樹

従業員：4名



キャッチコピー

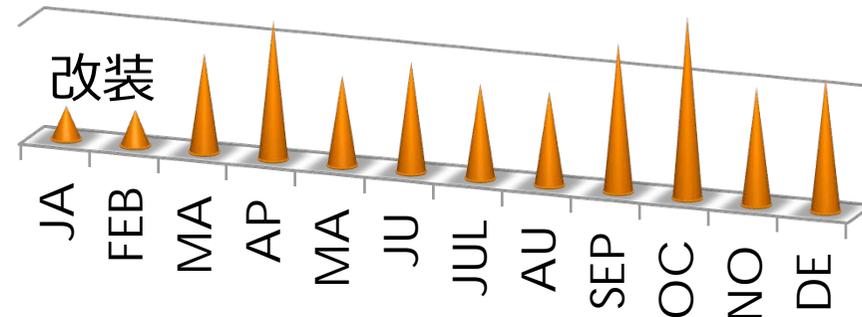
眠ることが楽しくなるお手伝い

- ・買ってよりも使って満足してもらいたい
- ・寝具にもっと興味を持って欲しい
- ・気軽に相談できるお店でありたい

SUMMARY 2019

- ・ 店内全面改装
- ・ HPリニューアル
- ・ 取引先2社追加(カバー・パジャマ)
- ・ vs 2018 Sales comp. +6.9%
- ・ vs 2018 T/C comp. $\Delta 12.1$
- ・ vs 2018 Ave comp. +18.2

Monthly Sales Analysis



安全はお客様との**約束**

①仕入れと素材調達

羽毛布団メーカーなどで、約半数の羽毛布団が中に詰める日本製羽毛製品と同組、羽毛布団の国内販売枚数は年間約3,000万枚あり、その

業者「中国産混入」

業者「中国産混入」

業界団体警告 仏産表示の半分超

実際とは異なる産地が表示された多数の羽毛布団が市場に出回っている疑いが出ています。事態を重く見た羽毛布団の業界団体はフランス産として売られている羽毛布団について「半分以上は産地偽装」などとする警告文書を加盟社に送付したが、消費者には知らせていない。羽毛業者は「加工過程の中国で、高価な欧州産に低価格の中国産を混入させ水増ししている」と証言する。

▼3面「値段優先で」

表示や中国産などだ。朝日新聞は日羽協が10社を起える加盟社に宛てた内部文書をもとに、1通は2014年5月付で「適切な産地表示の徹底について」とあり「羽毛原料

の国別輸入実績以上の欧州及び北米産表示の羽毛布団が市場にあふれている」と注意を促した。15年の財務省統計によると、羽毛の輸入先は中国が48%、欧州・ロシアは17%だ。

だが改善されず、15年1月に、もう一通を配布。フランス産については「半分以上は偽装と思われる。ハンガリー産などについても産地の信頼性に欠ける。原産地の偽装表示は製品表示法違反や詐欺罪が適用される」と警告した。

羽毛取引が長い業者によると、「欧州産に比べ、中国産は一般的に弾力性や保温力が良くない」。欧州産は中国産よりブランド力があり、価格も布団1枚1万数千円高いという。「日本のメーカーや商社が安い欧州産を要求すると中国側が中国産を混ぜて原価を下げる。欧州産というながら100%中国産というものもある」との証言もある。

日羽協の副理事長は取材に「産地偽装があちこちで起きていそぞろだ」と説明。取引履歴の保存や抜き打ちの産地分析検査などを検討中だという。

朝日新聞は昨年暮れから今年にかけて、フランス産と

ゲース表示なのに何とダック100%

目録・羽毛と試買スト量
17点のうち10点違反
ダウン混合率の不正も

2社は無断停止(1)

ダウン率で7点が違反

95%表示なのに72%

6月15日施行

JBA 9月15日施行



完成品の仕入れは不安...

知識と目利きが必要

あるメーカーの睡眠環境塾へ入塾

- ・ 素材や繊維組織、睡眠

日本羽毛ふとん診断協会

- ・ 年4回の勉強会へ参加
- ・ ダウンプロフェッサー(診断資格)取得
- ・ 年間100枚以上の診断と、取引先と傷み具合を共有

寝具唯一の国家資格

- ・ 1級寝具製作技能士取得
- ・ 日々の寝具製作

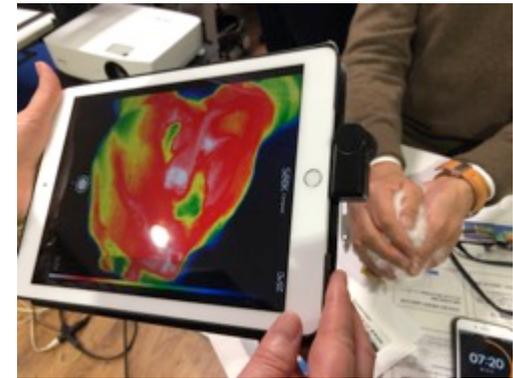
寝具店仲間との勉強会

- ・ カビ、ダニの第一人者をお呼びして講習など

知識と目利きが必要

他社製品の分析 「羽毛の3倍の保温力？」

直近だとトゥルスリーパー ホオンテック掛け布団（2020年1月22日）



- 生地と中綿の素材
- 布団内のキルトの形
- 熱の逃げる速さを羽毛と比較
- 中綿自体に熱がこもるのか
- 羽毛よりも暖かい根拠 & 本当？

知識と目利きが必要



孵化場、飼育農場、屠殺場、工場（洗浄・分別・検査）へ出向く。

羽毛は産地でなく品質

- 羽毛の**トレーサビリティ**
産地業者→国内業者→当店
(2018年**80.3%**・2019年**85.2%**)
- 輸入後に外部機関で検査
通常検査+**洗浄度**検査

2018年(平成30年)12月11日(日曜日)

羽毛布団出したらコホッコホッ 熱も出た 鳥アレルギーの肺炎かも

風邪と勘違い 要注意

鳥類過敏性肺炎は様々な原因で発症する

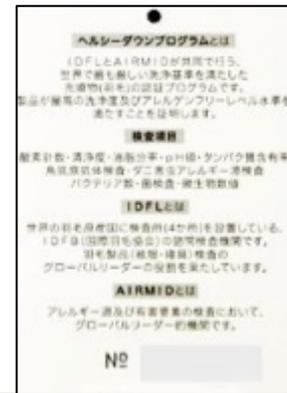
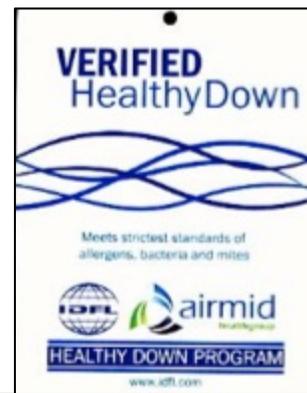
- インコやオウムなど ペットの鳥を飼う
- 鳥の糞尿はくせいを部屋に置く
- 羽毛布団、ダウンジャケットなど 羽毛を使った製品を使う
- 洗剤電車でダウンジャケットなどを 洗った人と乗り合わせる
- ハトが多くいる社寺や公園に近づく
- 鶏ふん肥料を使っている 畑の近くに住む
- 養鶏場のそばを通る

カビやキノコ原因のタイプも

鳥類過敏性肺炎は、鳥の羽毛や糞尿、皮膚の粉塵などが原因で発症する。また、カビやキノコなどの微生物も原因となる。特に、冬場の乾燥した空気には、カビやキノコの胞子が多く含まれている。これらの胞子が呼吸器に入り、アレルギー反応を引き起こす可能性がある。

鳥類過敏性肺炎の症状は、咳、痰、息苦しさ、発熱、胸痛などである。また、アレルギー性鼻炎や喘息の症状も併発することがある。診断には、血液検査や呼吸器検査が行われる。

予防には、鳥の糞尿を適切に処理し、換気を行うことが重要である。また、羽毛製品を定期的に洗浄し、乾燥させることも効果的である。

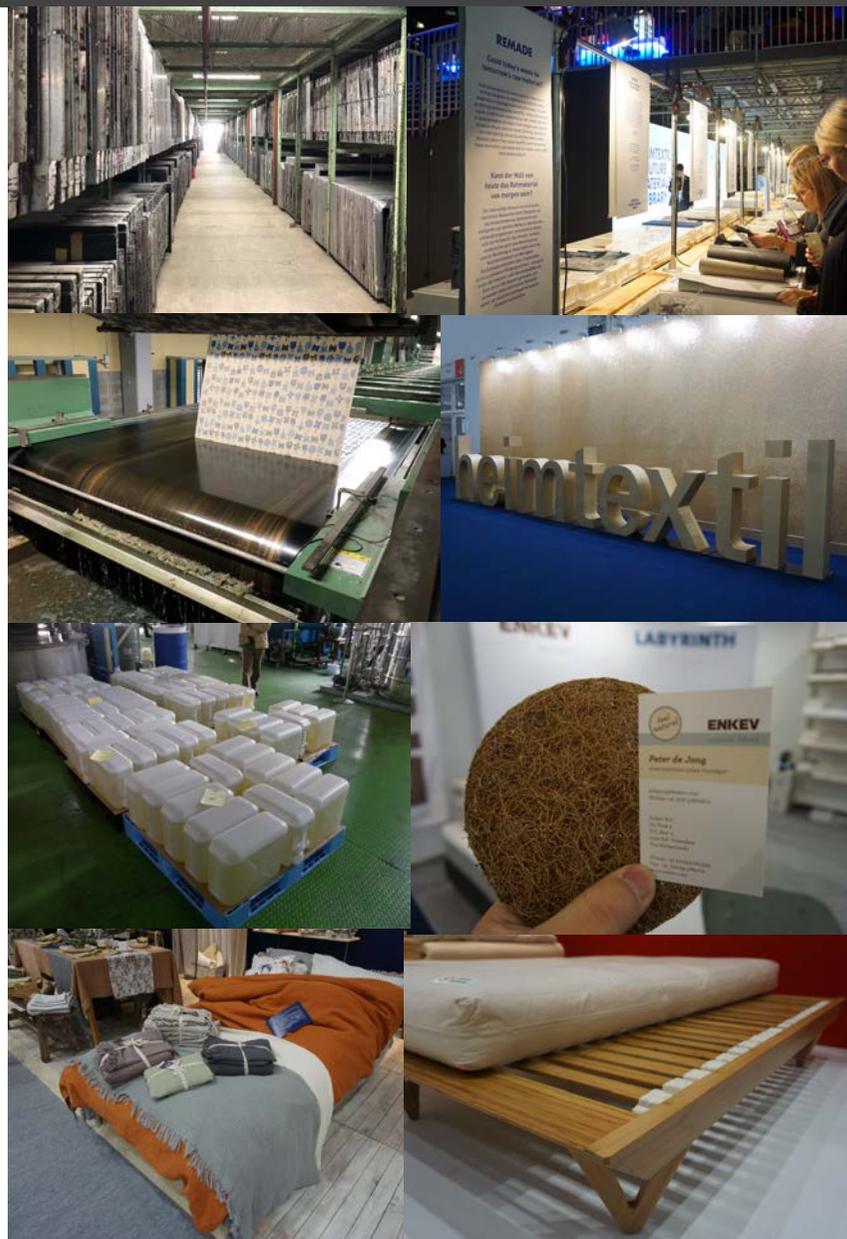


↑ 鑑定書類

← 洗浄度 承認カード

情報収集、学ぶ

- 洗剤 工場
シャボン玉石鹼株式会社
- 生地 染め工場
和歌山染工株式会社
日出染業株式会社
- 生地 織工場
寿織物株式会社
- 生地 展示会
蔭山株式会社
サンダース社
- インテリア 展示会
ジャパンインテリア総合展
インテリアライフスタイル
ハイムテキスタイル



A pair of hands is shown from the palms up, cupping a large amount of white, downy material. The material is soft and fibrous, resembling down or wool. The hands are positioned against a dark, solid background. The text '素材を知る' is overlaid in the center of the image.

素材を知る

情報収集、学ぶ

会員

- 日本睡眠環境学会
- 日本スリープケア研究会
- 日本羽毛ふとん診断協会
- 大阪府寝具技能士会
- 「早寝早起朝ごはん」全国協議会
- 睡眠健康教育研究会

資格

- 上級睡眠健康指導士
- 睡眠環境アドバイザー
- ダウンプロフェッサー
- 1級寝具製作技能士

素材の安全

綿打ち直し工場では検針検査未実施
→綿わた原料の検針検査



②製造工程



③品質チェック

ふとんのにしなかのこだわり



使う

洗う

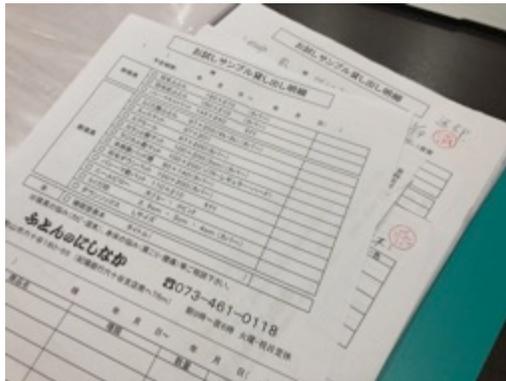
干す

④販売

宿泊や仮眠は普通にある

家で体験できる貸出し制度

- ・洗ったり干す必要なく借りやすい。
- ・貸出しがあるため、状態が見れるサンプルになる。



貸出し用紙

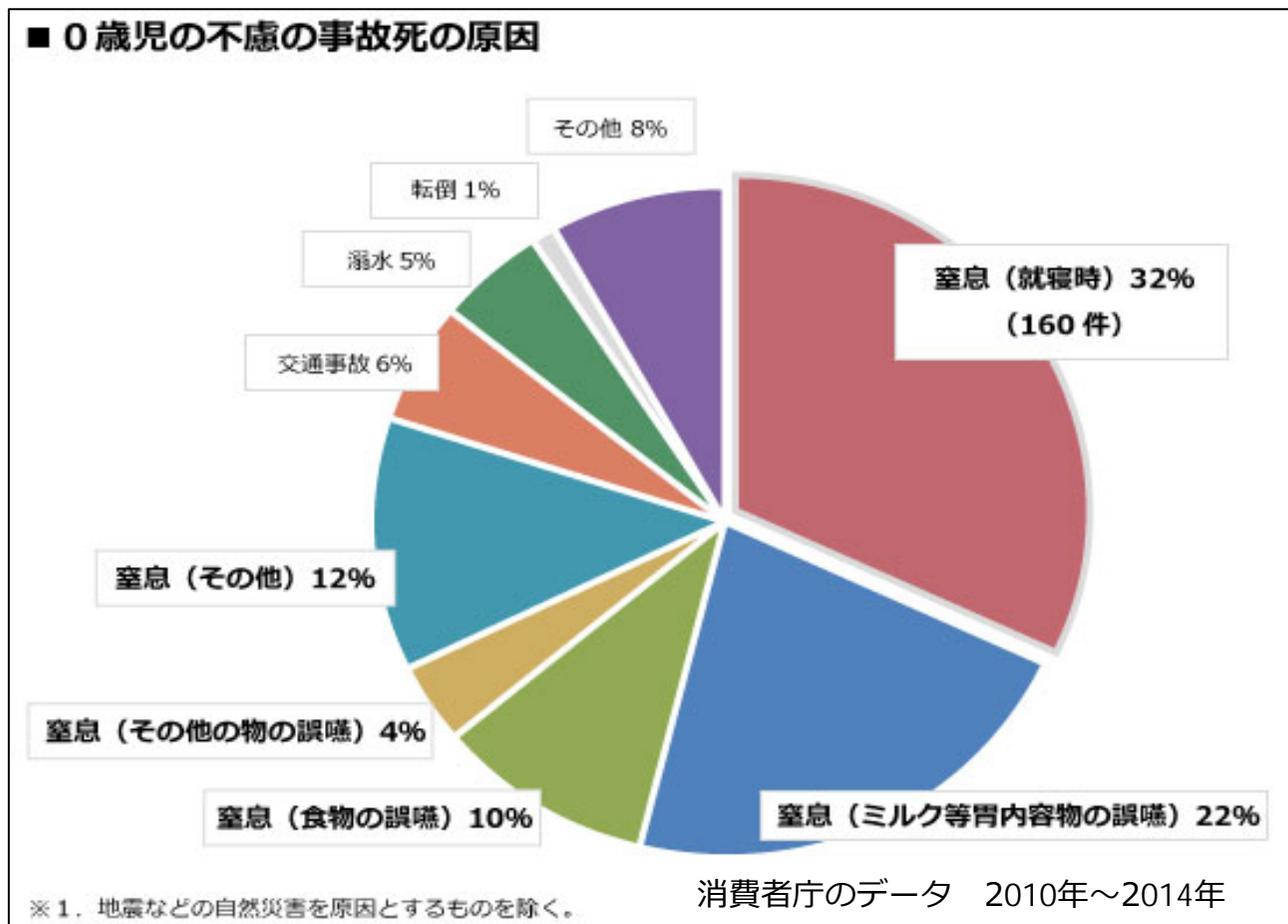


ベッド上は全てサンプル



貸出し用カバーと毛布

④販売



ベビー寝具（毛布と敷パット）は安全なものだけを。

⑤問題発生

- 購入データの把握率

2016年	97.7%	2017年	98.1%
2018年	98.9%	2019年	99.4%

(1992年以降保管)

- オリジナルが多い

自社加工やメーカー連絡可が多く、対応しやすい

- 消えない織ネームですぐ電話可能



消える印刷物が多い

⑤問題発生しないよう

- 紙面で数の管理
(手縫い針2種、ミシン針、握りハサミ)
- 手縫い針は専門店（1社）を使用。
- 使用後は針山の本数確認。

⑥メンテナンス・リペア

寝具を家から出す難しさ。
→広告・イベント

メンテナン

洗濯教室

羽毛診断イベント

メンテナンス紹介

洗濯教室

羽毛診断イベント

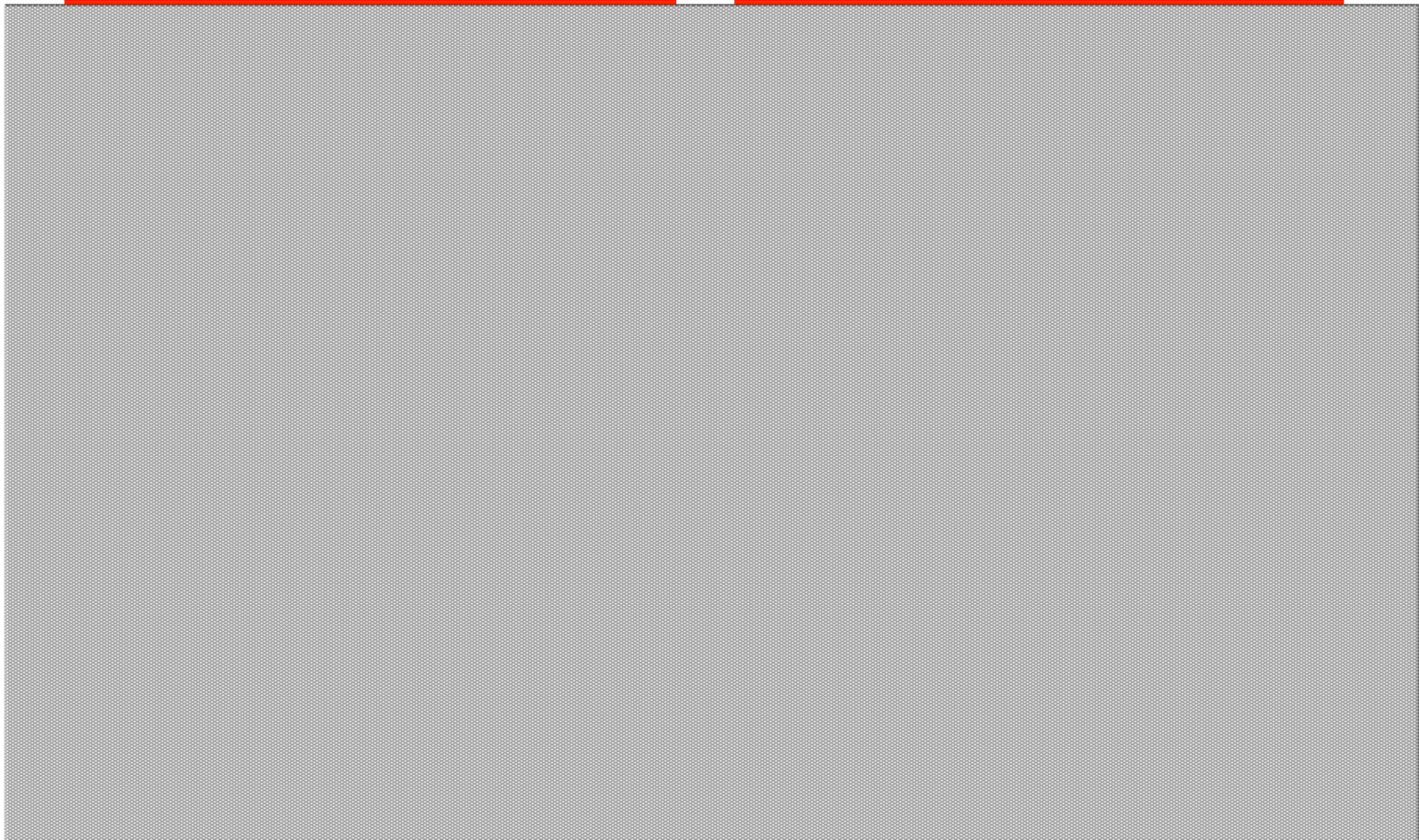
洗濯教室



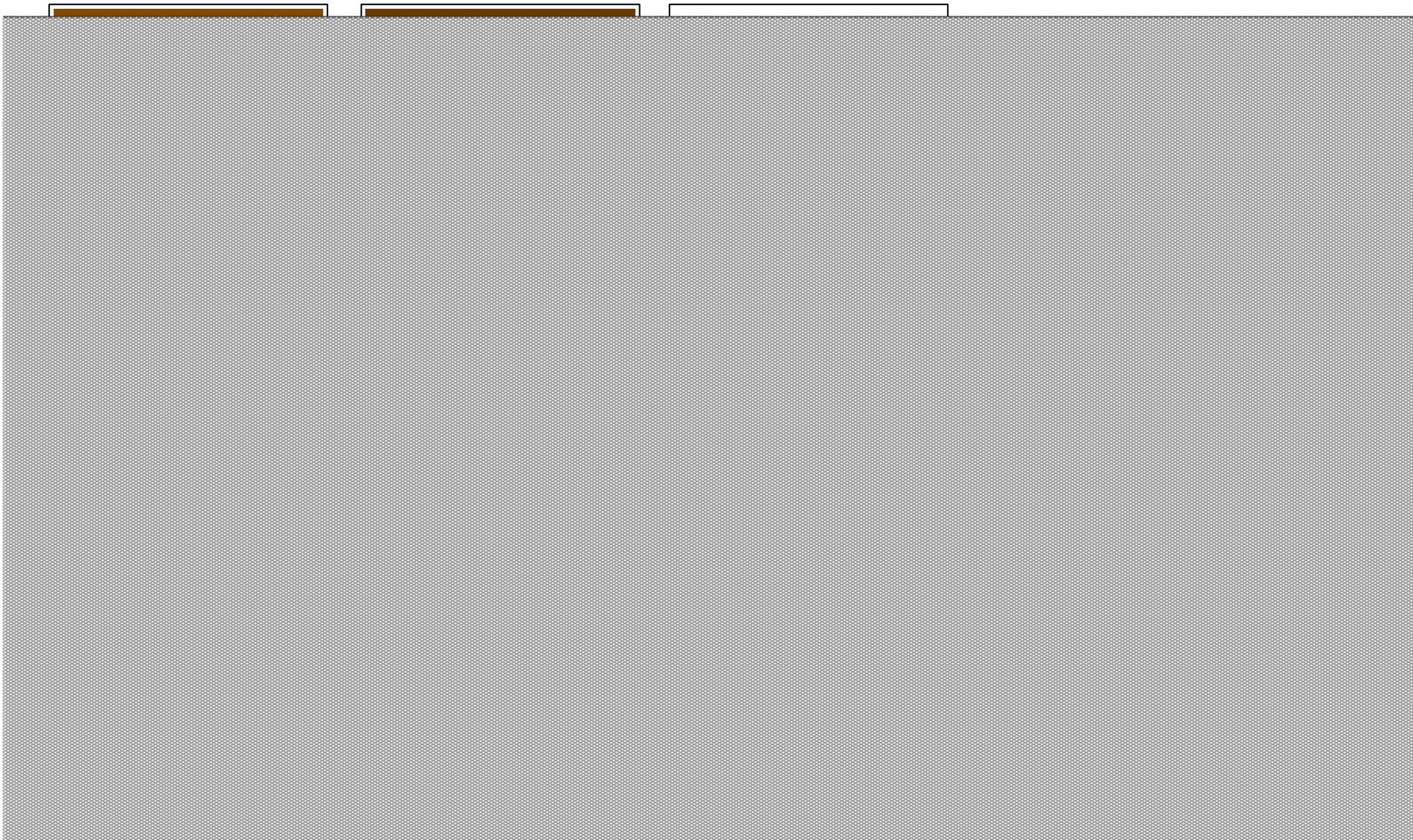
羽毛ふかふか大作戦



⑥メンテナンス・リペア



⑥メンテナンス・リペア





史跡 和歌山城

ご静聴ありがとうございました